

理学部および理工学研究科理学系研究室に所属する学生の皆さんへ

2020年－2021年の年末年始にあたって

2020年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、皆さんの学修や、実験実習・研究等の進行に大きな影響が出ていることを残念に思っております。理学部としては、学部の実験実習はもちろん、卒業研究や修士・博士研究を進めている皆さんが少しでも研究を進めやすいようにとの思いで可能な限りの対応をしてきたつもりです。もちろん不十分な点もあったかとは思いますが、どうかご理解下さい。

さて、年末年始の休暇を迎えるにあたって、研究室で研究活動をしている4年生および院生の皆さんにいくつかのお願いをさせていただきます。いろいろご不満な点もあるかとは思いますが、感染拡大の防止に取り組み、少しでも早く日常が戻るようにご協力をお願いします。

- ・水戸キャンパスは通常の休日モードで管理されます。年末年始の休暇中に入構を希望する学生さんは、12月25日までに来学希望日を指導教員に知らせて予定を調整して下さい。万一の際に確認する必要がありますので、必ず指導教員が来学者をあらかじめ把握できている状況となるようご協力をお願いします。
- ・休暇中の来学は昼間（8時から18時の間）に限定させていただきます。また、真に必要な要件に限定しての来学とし、「何となく」の来学・滞在はしないで下さい。
- ・研究室の施錠および火の元、危険物の管理に遺漏がないようにして下さい。また、理学部棟へ立ち入る際は、知らない人（特に学外者）と一緒に建物に入ることのないように注意して下さい。

年末に帰省される方や友人との会合等を予定している皆さんもおられるかとは思いますが、大学の12月17日付け教務ポータルシステム掲載通知にある感染防止策や、事故等の防止策へのご協力をお願いします。

COVID-19の感染場面では、多人数での会食（特に飲酒を伴う場合）と、それに伴うマスクをしないままでの会話が大きな割合を占めています。学生の皆さんの科学的、合理的な判断と冷静な行動を期待しています。

皆さんが元気に良い年を迎えられてまたお会いできることを願っています。

令和2年12月23日

理学部長 田内 広